

事業報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

国内の少子高齢化社会対策の問題から、1990年に出入国管理及び難民認定法（いわゆる入管法）が改正され国内の労働力確保を日系外国人に求めてきた。現在は、当市において在住外国人が20人に一人を占めるに至った。このような状況のもと財団法人鈴鹿国際交流協会は、市民の国際相互理解を深め友好親善に努め、行政、市内企業、団体及び市民と連携し、日本人と外国人がともに住みよい多文化共生社会の実現を目指し、国際交流都市にふさわしい環境づくりの事業を推進してきた。

1 事業の概要

(1) 交流事業

① 青少年ベルフォンテン市派遣事業（平成20年7月30日～8月5日・派遣生12名）

鈴鹿市在住の中学生（6名）及び高校生（6名）を鈴鹿市の友好協定都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市へ派遣した。

生徒達はホームステイ等を通してアメリカの生活や文化に直接触れ感動と思い出を作る喜びを体験し、またベルフォンテン市民との交流を深めてきた。

特に派遣する中高生達が行うパフォーマンスの企画と準備について、本年度は生徒達が自主的に企画し、6月から7月末までに9回カントリーロードの替歌と日本昔話の紙芝居などを練習し、ベルフォンテンの方達に披露し好評を得た。

② ル・マン市の武道団体（侍2000）が武道・日本文化体験の目的で友好都市の鈴鹿市へ来鈴（平成20年11月8日・土曜日・PM2:30～5:00）

ル・マン市より、モロ ディディエ氏他13名（内女性4名）をお迎えし、日本及び鈴鹿の文化を紹介し、市とともに歓迎事業を行う。

歓迎内容は、稲生高校生による「なぎなた交流」と、書道、茶道及び着物の着付けを披露し大変喜んでいただいた。

代表から、鈴鹿で受けた皆様の歓迎と武道及び日本の文化に触れられた喜びに対して謝辞があり、帰仏後にル・マン市長へ鈴鹿市民の心温まる歓迎セレモニーと友好都市交流の意向を伝えたい返礼を受けた。

(2) 研修啓発事業

① 語学講座

[前期]（平成20年5月～10月 募集人員各20名「中国語のみ15名」）

- | | | | | |
|-------------|-------|------|-------|-----|
| ・英会話初級講座Ⅱ | （昼の部） | ・20回 | ・受講者数 | 12名 |
| ・英会話初級講座Ⅰ | （夜の部） | ・20回 | ・ | 18名 |
| ・英会話中級講座Ⅱ | （昼の部） | ・20回 | ・ | 18名 |
| ・英会話中級講座Ⅰ | （夜の部） | ・20回 | ・ | 19名 |
| ・中国語入門講座 | （夜の部） | ・20回 | ・ | 15名 |
| ・ポルトガル語初級講座 | （夜の部） | ・20回 | ・ | 15名 |

[後期]（平成20年10月～平成21年3月 募集人員各20名「中国語のみ15名」）

- | | | | | |
|-----------|-------|------|-------|-----|
| ・英会話初級講座Ⅱ | （昼の部） | ・20回 | ・受講者数 | 18名 |
|-----------|-------|------|-------|-----|

- ・ 英会話初級講座Ⅰ (夜の部) ・ 20回 ・ 〃 20名
- ・ 英会話中級講座Ⅱ (昼の部) ・ 20回 ・ 〃 19名
- ・ 英会話中級講座Ⅰ (夜の部) ・ 20回 ・ 〃 20名
- ・ 中国語初級講座 (夜の部) ・ 20回 ・ 〃 12名
- ・ ポルトガル語初級講座 (夜の部) ・ 20回 ・ 〃 10名

※ 結果

* 前期 定員 115 名・応募者 97 名 (84,3%) 「H19 年度 101 名/115 名=87,8%」

* 後期 定員 115 名・応募者 99 名 (86,0%) 「H19 年度 105 名/115 名=91,3%」

②国際セミナー

○ 国際理解料理講座

* 「日本スタイルのお弁当作り及び子ども同士の交流会」

- ・ 開催日時 平成 20 年 9 月 14 日 (日) AM9:30~PM2:00
- ・ 場 所 鈴鹿市ふれあいセンター
- ・ 参加者 在住外国籍の参加者 16 名・交流会参加者 32 名
・ ボランティア会員 15 名 計 63 名
- ・ 参加費 料理講座@500 円・子供の交流会@100 円
- ・ 講 師 協会ボランティア会員
- ・ 結 果 料理講座と子ども交流会を同時に開催した。

料理講座の今回のテーマは“お弁当”。自国には日本のようなお弁当の習慣がない保護者のみなさんと、おにぎりやおかずを一緒に作り、お互いの文化の交流を図った。

また料理講座に参加したくても子どもを家に置いてこられない方のために子ども交流会を同時に開催した。

ボランティア会員の子供達と一緒にジャンケン列車やカルタやけん玉、だるま落とし、紙芝居など、日本の伝統的な遊びをチーム対抗制にして楽しんだ。

* 「日本の家庭料理」在住外国人の方への日本の家庭料理講座

- ・ 開催日時 平成 20 年 11 月 30 日 (日) AM10:00~PM 2:00
- ・ 場 所 文化会館 調理室
- ・ 参加者 31 名 (ブラジル人 26 名+ボランティア会員 5 名)
- ・ 参加費 @1,000 円
- ・ 講 師 橋本先生とボランティア会員 5 名
- ・ 結 果 募集と同時に沢山の方から応募があった。和気あいあいに巻き寿司と豚汁及びおにぎりづくりに時間を忘れて、お互いの文化を学びながら交流を深めた。

特にブラジルの方は、豚汁が好評で、また巻き寿司に具を沢山入れて上手く巻けなかったり、お互いが助けあって和やかな講座になった。

* 「ペルーの家庭料理」

- ・ 開催日時 平成 20 年 12 月 13 日 (土) AM10:00~PM2:00
- ・ 場 所 文化会館 調理室
- ・ 参加者 賛助会員 10 名 ・ 一般参加者 20 名 ・ 計 30 名

- ・参加費 賛助会員@1,000円・一般@1,500円
- ・講師 キャン・マユミ先生（ペルー出身，在住8年）・ペルーのアシスタントの方
- ・結果 参加者は，ペルーの家庭料理のチキン料理等デザートづくりに楽しみながら取組んで，料理を食べながら市内にお住まいのペルー人の中曽根ファミリーの演奏を聴き歓談した。

○ 国際理解セミナー

* 「中国を知ろう」

- ・開催日時 平成20年11月9日（日）AM10時から12時
- ・場所 協会事務所前（近鉄ビル会議室）
- ・講師/奏者 三重大学研修生 国平さんと周さん，琵琶演奏 周先生
- ・参加者 参加者23名
- ・結果 国平さんは，主にモンゴル民族と私の視点から見た中国の面積，人口，民族の数やその分布状況の紹介と生活に馴染んだ食べ物やステ茶（スーテイチャイ）を紹介された。

周さんは，中国河南省出身で，漢民族で中国の旧暦に沿った「祝日とその行事」についてお話をされた。

数字の“9”は「久」＝長久平安の意味があり，中国ではとても縁起の良い数字です。重陽節は敬老の日で，中国ではよく両親を“菊の花見”に連れて行くそうです。若い男女にとって元宵節の期間は，恋人に出会う為の「恋人節」だそうです。他にも，「春節」の餃子，「中秋節」のゲッペイなど，それぞれの祝日にちなんだ文化や習慣を楽しく披露してくれた。

周寧さんは，陝西省西安出身で来日して7年目で，その音色も大変美しく参加者の方に大変好評であった。

(3) 情報収集提供事業

① ホームページ

協会のホームページの内容の更新を図った。

② 協会（SIFA）ニュースの発行

- ・発行期間 年間4回（平成20年4・7・10・1月）
- ・発行部数 450部
- ・配布先 協会役員（理事・監事・評議員），賛助会員及びボランティア会員の方へ協会機関紙として発行
- ・内容 協会の新年度の事業計画・予算等と事業活動のお知らせと近況報告及び賛助会員及びボランティア会員の活動報告を主体に掲載した。

③ ホームビジット，ホームステイの受入れ

○ ホームステイ

「夏季」

- ・鈴鹿工業高等専門学校 1名 平成20年7月12～13日（モンゴル）
- ・鈴鹿工業高等専門学校 2名 平成20年8月1～2日・8月30～31日（マレーシア）
- ・鈴鹿工業高等専門学校 3名 平成20年8月8～10日・26～28日・30～31日（マレーシア）

- ・鈴鹿工業高等専門学校 1名 平成20年8月9～10日（マレーシア）

「冬季」

- ・鈴鹿工業高等専門学校 1名 平成20年12月26～31日（マレーシア）
- ・鈴鹿工業高等専門学校 1名 平成21年1月10～12日（マレーシア）
- ・鈴鹿工業高等専門学校 1名 平成21年1月17～18日（マレーシア）

「短期日本研修生」

- ・鈴鹿国際大学 15名 平成21年1月7～8日（韓国）

上記の通り、高専の留学生7名（モンゴル・マレーシア）をボランティア会員にお世話いただいた。また鈴鹿国際大学から韓国仁川大学生の依頼があり、ボランティア会員にお世話いただいた。

④ 研修等への参加

平成20年度は、(財)三重県国際交流財団(MIEF)が主催する各種国際交流セミナー研修へ職員が参加した。

○ 災害時の外国人被災者支援について考える研修会に職員が参加

- ・平成20年11月16日（日）「災害時の対応」
- ・平成20年12月14日（日）「ボランティアの実務を知る」
- ・平成21年1月25日（日）「支援ツールを使いこなそう」
- ・平成21年2月8日（日）「サポート実践編 ～外国語ややさしい日本語による情報提供ロールプレイ～」

○ 「ニーズに応える事業ってどうやって組み立てるの？」在住外国人に応える事業について、職員が参加

- ・平成20年12月6日（土）AM10:00～PM4:00

○ 外国人集住都市会議

- ・「東京 in2008」に事務局長と職員が参加
平成20年10月15日（水）海運会館（千代田区平河町）
- ・外国人集住都市会議岐阜・三重・滋賀ブロック会議への参加
第1回 平成20年5月8日（木）
第2回 平成20年6月27日（金）
第3回 平成20年7月24日（木）
第4回 平成20年8月19日（火）

○ 産業からみる多文化共生セミナー「～今後の労働力確保を考える～」に参加

- ・平成20年10月8日（水）四日市商工会議所
- ・三重県国際室と四日市商工会議所が主催し、四日市市内の企業及び関係団体が参加し、労働力を日系外国人に求めてきたが、企業及び国が日系外国人の方達に「日本の文化及び風習と日本語の問題等を学ぶ環境づくり」に対して、どの様に果たすべきかのセミナーがあった。

愛知県では企業が、岐阜県では人材派遣会社が「日本語教室」を設け時間等の環境づくりに取り組んでいる事例発表があった。

(4) 活動支援事業

- ① 賛助会員及びボランティア会員がおこなう国際交流事業（2件）及び共生推進事業（2件）への活動に助成

○「子どものための国際交流事業」

主 催 IIFC・国際理解実践センター（代表 市川 倫子）

日 時 平成20年8月7～12日

場 所 鈴鹿市文化会館 さつきプラザ

事業内容 12年目を迎え、夏休みに韓国の水原市の小中学生を招いて、日本の小中学生と相互理解を深める交流会を実施した。

○「お隣さんは外国人～笑顔でつなぐ多文化の輪」

主 催 鈴鹿青年会議所

日 時 平成20年9月12日 PM6:30～8:45

場 所 鈴鹿市文化会館 けやきホール

事業内容 第1部は、今話題のザ・ニューズペーパーが「多文化共生問題」を時事漫談で出演し、第2部で市民を対象に外国人市民との共生問題を市長・教育長・PTA会長・愛伝舎・ポータルミエ代表者（ブラジル国籍）の参加を得てシンポジウムを開催した。

○「国際交流フェスタ in 鈴国大」

主 催 鈴鹿国際大学

日 時 平成20年11月15日（土）・AM10:00～PM3:00

場 所 鈴鹿国際大学（国際文化ホール・体育館）

事業内容 「多文化理解」をキーワードに地域住民、県内教育機関児童・生徒等を対象に本学留学生との身近な国際交流の場を設け、参加者が国際交流・国際理解に関する実情を学び、外国人留学生との相互理解を深めるために下記事業を行った。

第1部 国際理解・国際交流活動発表会（国際文化ホール）

国際理解及び国際交流活動に取り組む県内の児童・生徒または地域国際交流団体等が活動発表し各団体賞を受けた。鈴鹿国際交流協会賞は、国際大学大学院生のスチントヤさんへ授与した。

第2部 国際交流パーティー（体育館）

留学生による自国の民俗芸能の披露、留学生との多文化交流・国際料理の試食会などを通じて、ボランティア及び地域の方々等が楽しく交流した。

○「パプアニューギニアの子供たちと絵画で環境を考えよう」

主 催 アジア・パシフィック友好の翼（代表 花井 錬太郎）

日 時 平成20年12月5（金）・6（土）・7日（日）・AM10:00～PM4:00

場 所 林建材ホール

事業内容 市内小学校及び亀山の小学校等の環境を考える絵画を持参し、平成20年9月25日から10月2日までパプアニューギニアに訪問されました。

その訪問時の写真やパプアニューギニアの子どもの絵画を掲載し、交流の輪を広め友好へと繋ぐ展示会を開催した。

(5) 共生推進事業

① 日本語会話講座開催事業

市内在住外国人のために日本語会話講座を開催

前期受講生数 延べ31名・後期受講生数 延べ10名 計41名

② 地域共生推進事業

○日本語指導者研修事業

本年度は、日本語ボランティア養成講座を鈴鹿国際大学の支援を得て、次のとおり開催した。

- ・ 募集人数 30名 / 応募者 43名 (全員受講願った。)
- ・ 講師 鈴鹿国際大学 (舟橋先生, 赤塚先生, 栈敷先生)
- ・ 参加費 一般6,000円, 賛助会員3,000円
- ・ 期間 6月7日～8月2日 (毎週土曜日) 10:00～11:30
(6回目と7回目を午前と午後に開催した。)
- ・ 講座内容
 - 1回目 三重県, 市の外国人の受入に関わる状況を知ろう (市民対話課)
ボランティアをするときの心構え日本語教室に求められるもの (AIUEO, 桜島)
 - 2回目 日本語ってどんな言葉 (日本語の特徴。面白さ。)
 - 3回目 日本語は難しい? (外国人が躓きやすい初歩的なミス, 日本語教育の言葉)
 - 4回目 日本語教室の授業を見てみよう。 I (模擬授業)
 - 5日目 日本語教室の授業を見てみよう。 II (模擬授業)
 - 6回目 教材を使って外国人と交流 (教材の使い方, 加工も含めて考える。)
 - 7回目 教室活動のプランづくりと演習。(授業プランを考える。教材を使い授業する。)
 - 8日目 外国人の気分で, 知らない言語で勉強してみよう。(国際大学留学生)
 - 9回目 市民 (ボランティア) で日本語を教えることのメリット

※講座終了後, 牧田地区「日本語教室」設立の第1回会議をH20年8月23日に開催し, その後毎月メンバーが集まり, 松葉日本語教師の指導を受け, また市内の「日本語教室」の桜島教室, AIUEO教室の研修及び三重県国際交流財団主催のブラッシュアップ講座に参加し研修を重ねていただきました。

現在9名の方が, 活動に向け研鑽を積んできました。

4月に牧田地区で「日本語教室」がボランティアの皆さんの支援を得て開設の運びとなり, 「日本語ボランティア養成講座」から地域活動していただけるボランティアの方が育ってきました。

③外国語版広報紙発行事業 (マンスリー)

ルビ付き日本語, ポルトガル語及びスペイン語版の広報紙を毎月発行する。

- ・ 発行部数 毎月約3,800部 (ポルトガル語2,350部・スペイン語1,000部・日本語450部)
- ・ 内容 市広報を在住外国人の方が必要とする記事の選択・翻訳・印刷して, 市及び市内の外国人が多く集まる店舗へ配布している。

④ 共生社会推進イベント

○わいわい春まつり “すずかの輪”

- ・ 開催目的 当該事業は, 「多文化共生」イベントを市民の方に参加願ひ在住外国人及び日本人市民が共にイベントを通じて, お互いの文化を理解しあう目的で開催した。企画運営に対して, 協会ボランティアの方が実行委員会を立ち上げて実施した。

・ 実行委員会

第1回 実行委員会 平成20年9月14日 PM2:30～4:30・ふれあいセンター

第2回 実行委員会 平成20年10月26日 AM10:00～12:00・神戸コミュニティセンター

第3回 実行委員会 平成20年11月3日 PM3:00～5:30・事務局

第4回 実行委員会 平成20年11月23日 AM9:30~12:30・事務局

- ・開催日 平成21年2月22日(日) AM10:00~4:00・文化会館さつきプラザ
 - ・内容 太巻き寿司, みんなでサンバ, マジックショー, 着物・民族衣装着付体験, 生け花, マラカス作り, 中国茶, ブラジル料理, バンド演奏, 紙芝居, 日本の遊び他
 - ・参加者 在住外国人及び日本人市民を招き, ボランティア会員が企画・運営する各種コーナーに参加し, 日本文化に触れたり, わいわい楽しんでいただけるイベントを行った。
 - ・結果 当初ボランティア会員の目的であった市民と共に連帯感と達成感が得られるイベント内容を考え取組んだ。その結果市民との連帯感には, 一歩近づいた気がしたのとボランティアと参加者は期待した満足感が得られた。
相互理解を深めるには, 一過性のイベントではなく毎年実施することが必要である。
- 「国際交流フェスタ in 鈴国大2008」へ参加
- ・主催 鈴鹿国際大学
 - ・開催日 平成20年11月15日(土) AM10:00~PM3:00・国際文化ホール / 体育館
 - ・内容 国際交流活動発表会が午前中にあり, 当協会理事長賞の審査に参加し, 午後の交流パーティには, パネル展示とペルーの飲物(チチャモラダ)を提供した。
 - ・結果 留学生, 地域の住民, 三重県国際交流財団, 三重県, 津市, 鈴鹿市の各教育委員会, ユニセフ, JICA とボランティアの方が参加し, 中国等の歌と踊りを堪能しながら, 各国の料理を試食し歓談した。
- 「外国人パートナーシップを考えるシンポジウム2008in 鈴鹿」へ参加
- ・主催 愛伝舎(NPO)
 - ・開催日 平成20年11月15日(土) PM1:00~5:00・市文化会館さつきプラザ
 - ・内容 在住ブラジルの方を中心に「日本での免許取得についてとネットワークづくり」について, その解決に向けたポルトガル語での運転免許試験についての意見が交わされた。
 - ・結果 ブラジル人の方と市民が一体となり, 多文化共生を考える議員(県・市議会議員)の会もポルトガル語運転免許試験実現に向けて取組む等の意見が出された。また, 三重県警察も検討していきたいとの意見が出された。
- 「鈴鹿地区外国人生徒支援協議会」への委員として職員が参加
- ・内容 在住外国人が多く住む鈴鹿市を中心に, 外国人生徒を日本語や日本での生活に資する基本的知識の習得, 並びに就職面での進路保障を支援する目的で協議会を設置した。
- ・委員の構成
- 飯野高校が中心となり, 三重県教育委員会, 鈴鹿市教育委員会, 鈴鹿商工会議所, 鈴鹿国際交流協会, 神戸高校, 亀山高校の先生や職員が参加している。
- 「留学生等への支援」
- 毎年鈴鹿国際大学等への留学生に対して, 市民, 賛助会員, ボランティア会員等の協力を得て生活物資を提供している。本年度も3月に鈴鹿国際大学へ届けた。

(6) 他団体への参加

○「第8回 夏の鈴鹿川体験」

主 催 やすらぎくんネット夏の鈴鹿川体験実行委員会

日 時 平成20年8月17日(日) AM10:00~PM3:00

場 所 鈴鹿川河川緑地(定五郎橋西)

内 容 日本人と在住外国人市民が参加するイベントである趣旨に賛同し参加した。
当日のイベント内容は、野草のてんぷら・防災食(ごはん)試食・薬草茶試飲、冷たい鈴鹿茶試飲コーナー、鈴鹿川流域の生き物水槽展示等と定五郎いかだ流し、ビーサン飛ばし、バルーン体験等が模様された。協会は環境に対する市民メッセージの掲示とすいか割りを実施した。

○「おいん鈴鹿産業フェスタ」

主 催 おいん鈴鹿産業フェスタ実行委員会

日 時 H20年9月27日(土)・28日(日) AM10:00~PM4:00

場 所 鈴鹿市文化会館と周辺

内 容 市内の産業界(企業・商店会・産学官及び各種団体等)が参集し、市内企業の活性化と技術等のPRを広く市民に知っていただくイベントとして、本年度から再スタートをした。

昨今は、市内に働く在住外国人の方も沢山参加されるので、当協会も「多文化共生社会」に向けて活動していくPRを兼ねて、ポルトガル語、スペイン語、英語の挨拶が記載されたペーパーを配布し、またキャンデーのつかみ取り等の催しを行った。

○「バイローターリー11月例会」へ参加(月例会の卓話依頼により参加する。)

主 催 バイローターリー

日 時 平成20年11月6日(木) PM6:30~7:30・鈴鹿サーキットハーモニーホール

内 容 国際交流協会の事業活動を広く理解していただくために、国際交流と多文化共生について説明を行った。特に在住外国人の方が何故増えて、鈴鹿市の産業を支えているのか、また、その方達が鈴鹿市民として生活する中で、市民ボランティアの支援及び在住外国人の方の「日本語をマスターするための問題」等を講演した。

○「三重県国際交流協会連絡会」

主 催 三重県国際交流財団

日 時 平成20年11月13日(木) PM1:30~4:30・三重県国際交流財団 会議室

内 容 県内の協会が集まり、外国人住民施策についての地域の課題について情報交換を行った。

○「第8回鈴鹿川流域の環境展「子どもたちが体験して楽しく学ぶ自然の大切さ」

主 催 鈴鹿川流域の環境実行委員会

日 時 平成21年1月17日(土) 18日(日) AM10:00~PM4:00

場 所 鈴鹿ハンター(センター・サブコート)

内 容 エコパネルと協会の紹介パネルを出展する。

○「三重県環境学習情報センター2月展示会へ出展」

日 時 平成21年2月1日(日)~28日(土) AM10:00~PM4:00

場 所 三重県環境学習情報センター展示室

内 容 協会事業の際に参加者から募ったエコメッセージパネルを展示するとともに協会の紹介パネルも展示した。

2 庶務事項

(1) 理事会等

評議員会 第1回 平成20年5月20日
第2回 平成20年5月28日
第3回 平成21年3月13日
理事会 第1回 平成20年5月23日
第2回 平成21年3月26日
市監査 平成21年2月10日

(2) 組 織

